



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月31日

上場会社名 みらかホールディングス株式会社  
 コード番号 4544 URL <https://www.miraca.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 竹内 成和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 兼 CFO (氏名) 北村 直樹

TEL 03-5909-3337

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	44,972	△13.8	3,439	△52.3	2,916	△57.6	1,844	△59.9
2018年3月期第1四半期	52,168	0.2	7,204	△1.4	6,877	10.0	4,600	131.7

(注)包括利益 2019年3月期第1四半期 2,504百万円 (△54.4%) 2018年3月期第1四半期 5,487百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	32.31	32.30
2018年3月期第1四半期	80.65	80.59

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	213,756	112,024	52.3	1,958.85
2018年3月期	176,068	113,225	64.2	1,979.78

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 111,823百万円 2018年3月期 113,008百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	93,800	△9.7	8,700	△32.6	7,000	△42.5	5,200	—	91.09
通期	190,000	△2.8	19,000	7.7	16,000	△3.4	10,500	—	183.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) SRL(Hong Kong) Limited 、 除外 — 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	57,339,383 株	2018年3月期	57,334,183 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期1Q	253,130 株	2018年3月期	253,080 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	57,084,095 株	2018年3月期1Q	57,044,371 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2018年7月31日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況.....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況

#### ①経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の先行きに不透明感はあるものの、先進国・新興国ともに全体として堅調な成長が見られました。

わが国においては、底堅い内外需を背景に企業収益は堅調に推移し、景気の回復が続いております。

臨床検査業界におきましては、引き続き価格下落圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第1四半期連結累計期間の売上高は44,972百万円(前年同四半期比13.8%減)となりました。国内受託臨床検査事業の売上が伸長したものの、米国で病理検査事業を営むMiraca Life Sciences, Inc. (以下、「MLS」という)が2017年11月に連結除外となったことなどから、結果として減収となりました。利益面では、各事業における将来の成長のための先行費用が発生したことなどにより、営業利益は3,439百万円(前年同四半期比52.3%減)、経常利益は2,916百万円(前年同四半期比57.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,844百万円(前年同四半期比59.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### イ. 受託臨床検査事業

国内事業で新規顧客を獲得したことなどにより増収となったものの、MLSが2017年11月に連結除外となったことにより減収となりました。利益面では、国内事業で成長のための先行費用が生じたことなどにより減益となりました。これらの結果、売上高は27,152百万円(前年同四半期比19.5%減)、営業利益は1,240百万円(前年同四半期比60.2%減)となりました。

#### ロ. 臨床検査薬事業

海外子会社における前第1四半期連結累計期間の一過性売上の反動減を主要因として減収となりました。利益面では、減収に伴う減益に加え、将来の成長のための先行費用が生じたことから減益となりました。これらの結果、売上高は10,955百万円(前年同四半期比3.7%減)、営業利益は2,092百万円(前年同四半期比36.3%減)となりました。

#### ハ. ヘルスケア関連事業

ヘルスケア関連事業の売上高は、治験事業における売上発現の遅延を主要因として減収となったことから、6,865百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益は、滅菌事業における基盤強化費用などにより、524百万円(前年同四半期比44.1%減)となりました。

#### ②財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37,687百万円増加し、213,756百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加30,815百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加3,722百万円、流動資産その他の増加1,943百万円、受取手形及び売掛金の増加1,204百万円、ソフトウェアの増加923百万円、建物及び構築物(純額)の増加598百万円及び仕掛品の増加542百万円があった一方、有形固定資産その他(純額)の減少2,366百万円があったためであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ38,889百万円増加し、101,731百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加23,000百万円、長期借入金の増加16,377百万円、流動負債その他の増加4,987百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加3,622百万円があった一方、未払金の減少6,132百万円、賞与引当金の減少2,783百万円及び支払手形及び買掛金の減少924百万円があったためであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,201百万円減少し、112,024百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,844百万円及び為替換算調整勘定の増加640百万円があった一方、配当金の支払3,710百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ11.9%減少し、52.3%となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ30,815百万円増加し、51,260百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は2,881百万円（前年同四半期2,610百万円の獲得）となりました。その主な要因は、その他の流動負債の増加3,470百万円、税金等調整前四半期純利益2,644百万円、減価償却費1,901百万円及び未払消費税の増加1,028百万円があった一方、賞与引当金の減少2,795百万円、法人税等の支払額1,477百万円、その他の流動資産の増加額1,299百万円及び売上債権の増加1,248百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は11,164百万円（前年同四半期2,500百万円の使用）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出8,505百万円及び無形固定資産の取得による支出1,575百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は39,141百万円（前年同四半期3,390百万円の使用）となりました。その主な要因は、短期借入金の純増加額23,000百万円、長期借入れによる収入20,000百万円があった一方、配当金の支払額3,689百万円があったためであります。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

2019年3月期の連結業績予想に係る売上高は、国内受託臨床検査事業の売上増、臨床検査薬事業におけるルミパルス製品及び海外子会社の販売増を見込んでいるものの、MLSが2017年11月に連結除外となった影響が通期で発生するため、対前年同期比減収となる見通しであります。

利益面では、国内受託臨床検査事業の増収に伴う利益増を見込むとともに、通期でMLSの営業損失の影響がなくなることから、営業利益は対前年同期比増益となる見通しである一方、海外持分法適用会社の業績に鑑み、経常利益は対前年同期比減益となる見通しであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前連結会計年度に一過性の特別損失を計上したことから、増益となる見通しであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,455	51,271
受取手形及び売掛金	31,896	33,101
商品及び製品	4,881	4,820
仕掛品	4,573	5,116
原材料及び貯蔵品	5,087	5,177
その他	8,600	10,613
貸倒引当金	△160	△136
流動資産合計	75,334	109,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,326	13,924
工具、器具及び備品（純額）	12,579	16,302
土地	9,710	9,979
その他（純額）	13,191	10,825
有形固定資産合計	48,807	51,031
無形固定資産		
のれん	2,192	2,031
顧客関連無形資産	1,249	1,205
ソフトウェア	2,641	3,565
その他	5,284	5,250
無形固定資産合計	11,368	12,053
投資その他の資産		
投資有価証券	14,274	14,231
その他	26,306	26,497
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	40,558	40,707
固定資産合計	100,733	103,792
資産合計	176,068	213,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,368	8,443
電子記録債務	1,194	1,975
短期借入金	-	23,000
1年内返済予定の長期借入金	1,999	5,622
未払金	14,834	8,701
未払法人税等	1,122	850
賞与引当金	5,237	2,453
その他	7,681	12,669
流動負債合計	41,439	63,717
固定負債		
長期借入金	2,299	18,677
退職給付に係る負債	3,117	3,088
資産除去債務	618	630
補償損失引当金	10,395	10,852
その他	4,972	4,764
固定負債合計	21,403	38,014
負債合計	62,842	101,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,066	9,076
資本剰余金	24,788	24,799
利益剰余金	81,637	79,771
自己株式	△1,235	△1,235
株主資本合計	114,257	112,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310	299
為替換算調整勘定	△756	△115
退職給付に係る調整累計額	△803	△773
その他の包括利益累計額合計	△1,248	△588
新株予約権	217	200
純資産合計	113,225	112,024
負債純資産合計	176,068	213,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	52,168	44,972
売上原価	31,313	28,997
売上総利益	20,854	15,975
販売費及び一般管理費	13,649	12,535
営業利益	7,204	3,439
営業外収益		
受取利息	12	22
受取配当金	10	14
その他	78	81
営業外収益合計	101	118
営業外費用		
支払利息	106	48
持分法による投資損失	195	509
その他	126	83
営業外費用合計	427	640
経常利益	6,877	2,916
特別利益		
固定資産売却益	2	0
新株予約権戻入益	7	16
その他	32	4
特別利益合計	42	22
特別損失		
固定資産除却損	9	23
補償損失引当金繰入額	-	271
その他	29	0
特別損失合計	38	294
税金等調整前四半期純利益	6,881	2,644
法人税、住民税及び事業税	1,566	333
法人税等調整額	714	466
法人税等合計	2,281	799
四半期純利益	4,600	1,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,600	1,844

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	4,600	1,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△11
為替換算調整勘定	843	640
退職給付に係る調整額	39	30
その他の包括利益合計	887	660
四半期包括利益	5,487	2,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,487	2,504

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,881	2,644
減価償却費	2,012	1,901
のれん償却額	626	251
補償損失引当金繰入額	-	271
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,821	△2,795
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△31	△31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19	△24
受取利息及び受取配当金	△22	△37
持分法による投資損益 (△は益)	195	509
支払利息	106	48
為替差損益 (△は益)	△371	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,700	△1,248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	288	△479
仕入債務の増減額 (△は減少)	△736	△163
未払消費税等の増減額 (△は減少)	379	1,028
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△103	△1,299
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	790	3,470
その他	263	229
小計	5,736	4,291
利息及び配当金の受取額	12	113
利息の支払額	△101	△45
法人税等の支払額	△3,036	△1,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,610	2,881
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,757	△8,505
無形固定資産の取得による支出	△474	△1,575
貸付けによる支出	-	△545
事業譲受による支出	-	△517
その他	△269	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,500	△11,164
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	23,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△192	△170
長期借入れによる収入	-	20,000
株式の発行による収入	60	18
配当金の支払額	△3,231	△3,689
その他	△26	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,390	39,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	537	△42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,743	30,815
現金及び現金同等物の期首残高	35,547	20,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,803	51,260

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、SRL(Hong Kong) Limitedは増資の実施により重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、SRL(Hong Kong) Limitedは当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	受託臨床 検査事業	臨床検査 薬事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,746	11,377	7,043	52,168	—	52,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	266	745	12	1,023	△1,023	—
計	34,013	12,122	7,055	53,192	△1,023	52,168
セグメント利益	3,116	3,283	939	7,338	△134	7,204

(注) 1. セグメント利益の調整額△134百万円は、セグメント間取引消去1,160百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,294百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	受託臨床 検査事業	臨床検査 薬事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,152	10,955	6,865	44,972	—	44,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	224	854	7	1,086	△1,086	—
計	27,376	11,810	6,873	46,059	△1,086	44,972
セグメント利益	1,240	2,092	524	3,858	△418	3,439

(注) 1. セグメント利益の調整額△418百万円は、セグメント間取引消去1,594百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,013百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。